

モダン美人誕生

岡田三郎助と近代のよそおい

明治期から昭和初期にかけて、日本ではファッションや美意識の一大変革が起こりました。開国後の急速な欧化政策により、江戸時代から続く伝統的な化粧や髪型、服装は次第に姿を消し、西洋式のスタイルが採り入れられるようになります。また大正期には、女性の社会進出や大戦後の好景気にともない、モダンで華やかなファッションが求められ、新しい生活スタイルや娯楽を享受する人々が増えています。

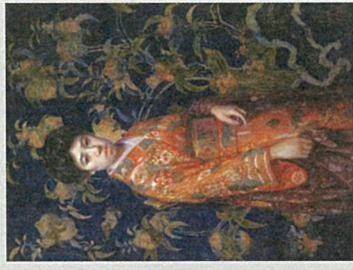
この時代、新たなファッションアイコンや理想の「美人イメージ」誕生に大きな役割を果たしたのが、洋画家の岡田三郎助（1869-1939）です。明治末期から、百貨店の仕事や日本初の美人写真コンテストにも携わっていた岡田は、女性のよそおいに敏感に反応し、新しい美人像を生み出していきます。大きな瞳と卵形のきれいな輪郭を特徴とする岡田の女性像は、百貨店のポスターや雑誌の表紙などを通じて広がり、「岡田調の美人」は人々の憧れの的となったのです。

本展では、近代の女性のよそおいや美意識の変遷を絵画やポスター、写真、化粧道具、染織史料などで辿りながら、近代洋画の大家である岡田が女性たちの生き方に寄り添い、新時代の「美」を紡ぎ出していた様子を紹介します。

新しきニッポンの美人、ここにはじまる。



1



2



4



3



5



5



6



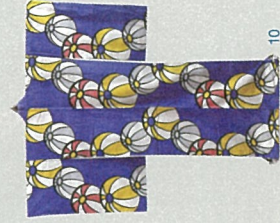
7



8



9



10



11

- 1 岡田三郎助《ダイヤモンドの女》1908年(明治41) 福富太郎コレクション資料室
- 2 岡田三郎助《芝那絹の朝》1920年(大正9) 高島屋史料館
- 3 岡田三郎助《婦人像》1907年(明治40) 石橋財団ブリヂストン美術館
- 4 新戸福地八幡に社若狭津小袖 江戸時代 松坂屋コレクション(シフロントリテリリング史料館)【展示期間:12月8日-2019年1月14日】
- 5 榎本千花楼《池畔春興》1932年(昭和7) 鳥栖県立石見美術館【展示期間:12月8日-2019年1月29日】
- 6 榎本千花楼《口紅を搦く》1935年(昭和10) 鳥栖県立石見美術館【展示期間:12月8日-2019年1月29日】
- 7 「あやめ文製化粧セット」1903-1907年(明治36-40)
- 8 「五三利政時給絹化粧道具」明治時代
- 9 楊州周廷《上野不忍池馬之國》1884年(明治17)【展示期間:12月8日-2019年1月29日】
- 10 「郷地紙風俗模様銘仙産物」昭和時代 個人蔵【展示期間:12月8日-2019年1月29日】
- 11 「赤地孔雀羽模様銘仙産物」昭和時代 個人蔵【展示期間:2019年1月31日-3月17日】

※新巻の記載のないものはすべてポニー美術館及びポニー文化研究所蔵

展覧会関連イベント

ビギン・ザ・美人! 結髪デモンストレーション&スペシャルトーク

日本でも数少ない結髪師である林照乃氏が、江戸〜明治時代にかけて結われた「日本髪」から、明治〜大正時代に流行した「束髪」に結び直すデモンストレーションイベント。化粧文化の専門家である村田孝子氏の解説や、展覧会にまつわるトークを交えながらお楽しみいただけます。



日時: 12月15日(土) 14:00-16:00
 講師: 村田孝子(ポニー文化研究所シニア研究員)
 林照乃(結髪師)
 会場: 館内講堂(19:30開場)
 定員: 先着80名
 参加費: 無料(要当日入館券)

「美人イメージ」のルーツを探る! ギャラリートーク

学芸員が展示室で展覧会の見どころをご紹介しながら、現代にまで繋がる「美人イメージ」の起源を辿ります。

日時: 12月22日(土)、2019年1月19日(土)
 2月10日(日)、3月9日(土)
 各回 14:00-14:40 先着30名(要当日入館券)
 13:50より館内講堂にお集まりください。

左上:結髪師形二百三高島屋(明治時代)「ポニー文化研究所蔵」右上:「風俗画観」886号(1908年(明治41))より流行の髪「其の一 束髪」下:イベントイメージ